

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2007 年 5 月 3 日 16 : 40
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
明成高	<table border="1"> <tr><td>9 1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>13 2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>19 3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>19 4th</td><td>25</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	9 1st	22	13 2nd	21	19 3rd	18	19 4th	25	OT		能代工高
9 1st	22											
13 2nd	21											
19 3rd	18											
19 4th	25											
OT												
60 ●		86 ○										

主審:Referee 佐藤 誠 (千葉)
副審:Umpire 渡邊 整 (栃木)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 能代商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	✓	安藤 雄志	CAP	5	1	1	0	2	4	×	渡部 敬祐	CAP	13	2	1	5	2
5	×	小野 大貴		2	0	1	0	1	5	×	満原 優樹		17	0	7	3	1
6	✓	伊藤 駿		7	0	3	1	2	6	×	高橋 健太郎		9	0	2	5	0
7		岩崎 翔太		-	-	-	-	-	7	×	長谷川 技		21	1	5	8	0
8	✓	我妻 典明		2	0	1	0	1	8	×	高橋 陽		11	3	1	0	1
9	×	佐藤 琢		4	0	2	0	4	9	✓	宮川 光		8	0	4	0	0
10	×	佐藤 卓哉		18	3	4	1	4	10	✓	館山 健太		7	2	0	1	1
11	✓	菅原 康平		2	0	1	0	3	11		石川 朝		-	-	-	-	-
12		菊地 大		-	-	-	-	-	12		熊谷 健		-	-	-	-	-
13	×	石川 海斗		3	1	0	0	1	13		荒生 純平		-	-	-	-	-
14	×	中川 真雄		14	0	7	0	2	14		小川 昌志		-	-	-	-	-
15	✓	宮澤 耀佑		0	0	0	0	0	15		武藤 修平		-	-	-	-	-
16	✓	佐藤 文哉		3	1	0	0	0	16		金田 健大		-	-	-	-	-
17		新妻 一輝		-	-	-	-	-	17		飯田 啓人		-	-	-	-	-
18	✓	畠山 俊樹		0	0	0	0	1	18		佐藤 光		-	-	-	-	-
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		加藤 三彦						
Aコーチ		佐藤 幸広							Aコーチ		佐々木 信吾						
合計				60	6	20	2	21	合計				86	8	20	22	5

※×:スターター ✓:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、立ち上がり、お互い硬さが見られたが、能代工高⑤満原のドライブ⑧高橋の3ポイントなどで流れをつかむ。一方明成は、⑭中川を中心に厳しいディフェンスからリズムを作りたい。第1Qは結局⑤満原⑧高橋の活躍などで9対22で能代工高のリードで終了。

第2Q、能代工高のプレスディフェンスがはまり、⑧高橋のスティール⑦長谷川のゴール下などで流れをつかむ。明成は、粘り強いディフェンスをするが、なかなか得点に結びつかない。それでも⑩佐藤の3ポイントや⑭中川のゴール下で何とか粘りたい。第2Q終わって22対43で能代工高の21点のリード。

第3Q、明成は出だし、④安藤⑥伊藤のシュートで波に乗りたいところ。能代工高は、⑤満原⑦長谷川の活躍で一気に勝負をつけたいところ。明成はこれ以上差をつけられると厳しいが何とか粘りたい所。第3Q終わって41対61で試合の行方はまだわからないが能代工高有利か。

第4Q、立ち上がりから能代工高の⑦長谷川のドライブや⑤満原の豪快なダンクシュートが決まる。明成は⑭中川を中心としたディフェンスから活路を見出したいがなかなか点差は縮まらない。最後はオールコートでプレスディフェンスで少しでも差を縮めたいが結局60対86で能代工高の勝ち。

能代工高は、⑤満原、⑦長谷川が好調でガード陣の安定感出場チームでも抜き出ているように感じる。またディフェンスも能代工高らしさがでていいる。明成は粘りのあるディフェンスからアウトサイドのシュートが決まらず厳しい展開となった。